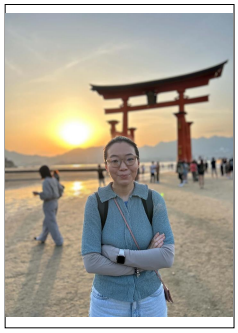
別紙２

異文化理解促進プログラム協力講師　自己紹介

※公開可能な内容のみ記載ください。



名前：　Amarsanaa　　Jargalmaa
　　アマルサナー　ジャルガルマー
職業：大学院生（博士課程）
所属：広島大学院人間社会科学研究科
専門分野：経済学
日本語レベル：N3

出身国や外国で過ごした経験について教えてください：
モンゴル出身。2014 年に学士課程のためにアメリカへ渡り、5 年間生活しました。その後イスラエルのヘブライ大学大学院で修士課程を修了しました。広島での生活は今年で 3 年目です。中学 3 年間の夏休みに日本を訪れ、毎年、夏休みの間は公文に通っていました。それがきっかけで、日本語を学び始めました。これまでに日本を一人旅で 2 回訪れ、いろいろな場所を巡りました。その中で、地域によって異なる日本の魅力やさまざまな一面を実際に感じることができ、とても楽しかったです。

広島の児童・生徒たちにどんなことを学んでほしいですか：
いろいろな国の文化や人々についてお話ししたいです。私自身、3〜4 か国(アメリカ、イスラエル、日本、モンゴル)で生活した経験があるので、そこで出会った人々や文化について、自分の経験を交えながら、いろいろな国や文化の違いについてお話しできると思います。そして、世界にはいろいろな文化や考え方があることを知って、自分の世界を広げてほしいです。

自己紹介を自由に記載してください（写真などもお使いください）：

はじめまして、ジャッキーです。モンゴル出身で、アメリカ、イスラエル、日本で学んできました。現在は広島大学の大学院で、日本の高齢者の暮らしやお金、孤独について、行動経済学の視点から研究しています。

週末は山登りや水泳、温泉を楽しんだり、広島県内のまちを巡ったりするのが好きです。

授業では、モンゴルの暮らしや文化、留学や海外生活のこと、言葉を学ぶコツなどをお話しできます。子どもたち、学生たちがさまざまな文化や考え方に興味を持ち、自分の世界を広げられるような、楽しく学べる時間にしたいです。どうぞよろしくお願いします。